

廿日市市農業振興ビジョンの見直しについて（概要）

基本的な考え方

1 ビジョンの目的及び見直しの理由

廿日市市農業振興ビジョン（以下「ビジョン」という。）は、前期期間の最終年である令和7年度に中間評価を実施するとともに、国、県及び他市町の状況や本市の農業を取り巻く現在の状況を踏まえて、後期期間（令和8年度～令和12年度）の中間見直しを実施します。

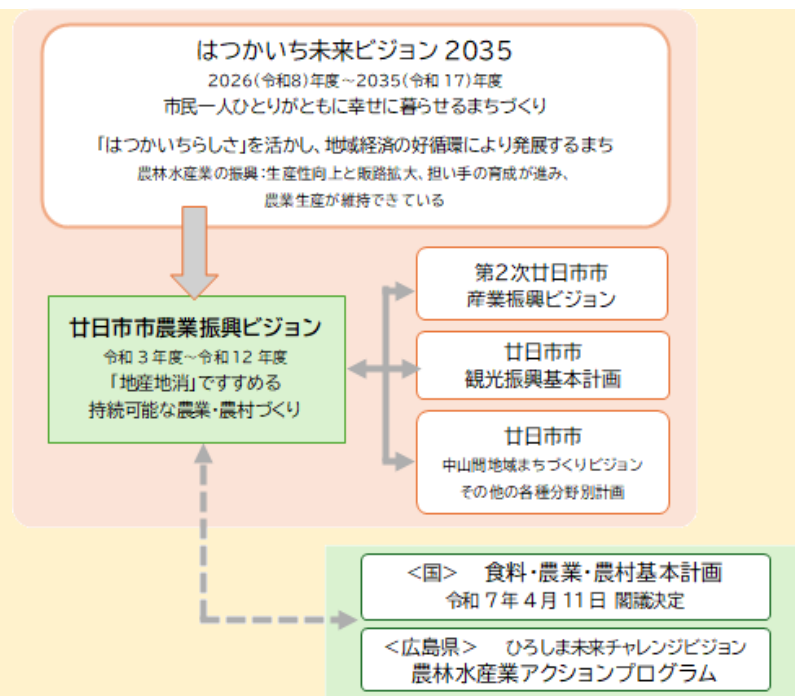
なお、ビジョンの見直しにあたっては、設置している廿日市市地産地消協議会での議論を踏まえ取りまとめを行います。

年 度	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12
ビジョン (計画期間)										
中間見直し (後期期間)					中間 評価					

2 ビジョンの位置づけ

ビジョンは、「はつかいち未来ビジョン 2035（総合計画）」を上位計画とし、現行の部門別計画として、総合計画の基本構想及び基本計画と整合性を保ちながら、「第2次廿日市市産業振興ビジョン」、「廿日市市観光振興基本計画」等と連携しています。

また、国の「食料・農業・農村基本計画」や広島県の「農林水産業アクションプログラム」との整合を図りながら、施策を展開することとしています。

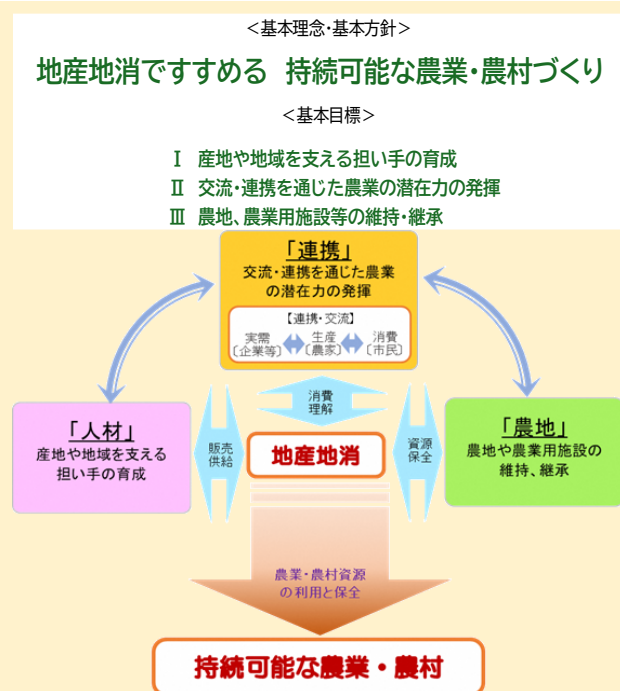


3 ビジョン見直しの基本的な考え方

基本理念、基本目標及び施策課題は、ビジョンの計画期間において一貫して取り組みます。

また、基本的な考え方及び施策の展開方向について、市民（消費者・実需者）・農業者（農業法人等）・支援機関（産業経済団体・JA ひろしま・市）で共有して理解を深め、ビジョンの基本理念である「地産地消で進める 持続可能な農業・農村づくり」の実現を目指します。

また、見直しにあたり、中間評価（成果課題）とともに国・県の動向及び後期期間の考え方を踏まえ、後期期間において選択・集中して取り組む施策の方向を基本目標及び施策課題ごとに整理します。



中間見直し／後期期間の方向

4 ビジョンの中間評価と後期期間の施策方針

基本目標Ⅰ 産地や地域を支える担い手の育成

成果指標	R2 現状値	R6 現状値	R7 目標値	達成 状況	中間評価	R12 目標値
認定農業者数	27人	28人	38人	○	見直し	40人
認定新規就農者数	4人	6人	10人	○	維持・継続	10人
水稻作付面積	344ha	308ha	350ha	△	維持・継続	350ha
農地権利取得面積(新規設定分)	71a	57a	100a	△	維持・継続	100a

認定農業者・新規就農者は毎年一定程度確保されていますが、担い手の引退などもあり目標に至らず高齢化等による離農も多いため、水稻作付面積は減少傾向。

⇒ 今後は、新規就農者の確保に加え、既存農業者の経営継続や円滑な世代交代、農地の引き受け体制の構築など、「担い手を増やす施策」と「担い手を支え、引き継ぐ施策」を一体的に推進する視点が必要。

<後期期間の課題>

- ◆農業を担ってきた世代の高齢化と農業者の減少に対する「多様な担い手の確保・育成」
- ◆新規就農者、親元就農が可能な農業後継者といった「次世代の担い手の確保・育成」
- ◆集落営農を担ってきた組織の高齢化にともなう「構成員の世代継承」
- ◆持続可能な営農の実現に求められる「農業の支え手」

<後期期間の方向性>

「担い手」と「支え手」の両輪から多様な人材・組織の確保・育成に取り組む



（農業の担い手）

- ◆認定農業者や農業法人等の多様な担い手の確保・育成
- ◆新規就農者とともに親元就農の促進
- ◆農業法人等の次世代継承の推進
- ◆スマート農業の導入促進

（農業の支え手）

- ◆農業を支える農作業代行サービス事業者の確保・育成
- ◆若者・女性・外国人材の雇用育成支援



<主な施策の展開方向>

※特に力を入れて実施する「新規」「拡充」事業

- ★認定農業者の育成と成長促進：経営管理、資金確保、農地確保、営農ノウハウの習得、販路の開拓等の支援
- ★地域の核となる経営体の次世代への継承：次世代を担う人材の育成と継承に向けた支援
- ★はつかいち版新規就農プラットフォームの構築：新規就農者の相談窓口の統一化及び周知
- ★農業後継者の確保・育成：親元就農者の新たなチャレンジの支援
- ★農地集約の促進：生産性が高い農地の整備
- ★共同利用の推進：働き手や機械設備、資材購入、出荷作業、農地管理等の共同化の推進
- ★農業支援サービス事業体の強化及び育成：草刈りや防除、田植え、稲刈り、収穫等の外部委託化の促進

基本目標Ⅱ 交流・連携を通じた農業の潜在力の発揮

成果指標	R2 現状値	R6 現状値	R7 目標値	達成状況	中間評価	R12 目標値
産直市への出荷者数	504 人	551 人	580 人	○	維持・継続	600人
市内の農林水産物を意識して購入している市民の割合	31.8%	33.2%	37.0%	○	維持・継続	37.0%
JA 生産部会員数	44 人	41 人	54 人	△	廃止	
交流会参加事業者数	－	112 人	20 人	◎	見直し	150 人
地産地消宣言店登録数 (地元農産物を使用している飲食店など)	－	13 店	10 店	◎	見直し	30 店
農福連携に取り組む事業者数(累計)	－	3 人	2 人	◎	見直し	8人
観光農園の来客者数	5,912 人	6,300 人	10,000人	○	見直し	10,000 人
イベント出展数	0 回	1 回	4 回	○	維持・継続	4回

産直市場出荷者数、市内農林水産物を購入する市民の割合は増加傾向だが目標達成には至らず。生産者と実需者との交流による市内産農産物の需要拡大、マッチングによる農福連

⇒ 今後は安定供給や継続取引に向けて、交流やイベントにとどまらず、生産から流通・販売までを見据えた仕組みづくりや関係者をつなぐコーディネート機能の強化など、農業の潜在力を持続的に発揮できる体制構築

＜後期期間の課題＞

- ◆市民や観光客、食品製造者、学校等の実需者に「地元農産物を届ける多様な中間流通」
- ◆「子どもが主役のまち」における「学校給食への供給および食育の継続」
- ◆販売チャンスに対する「地元農産物を活かした魅力ある加工品」
- ◆観光客や市民とのふれあいあいや共感の輪が広がる「体験交流できる農の現場」

＜後期期間の方向性＞

「地産地消」「加工・販売」「体験・交流」の連携を図りながら、
地域特性を活かした付加価値の高い農業に取り組む



- ◆生産者と実需者がつながる中間流通の仕組みづくり
- ◆地元農産物を活かした6次産業化の推進
- ◆体験交流が楽しめる農業の推進
- ◆持続可能な生産に向けた
生産資材コストの削減や収益性向上への支援



＜主な施策の展開方向＞ ※特に力を入れて実施する「新規」「拡充」事業

- ★地元農産物の中間流通プラットフォームの構築：地元農産物の中間流通を担う事業者の確保・育成
- ★環境保全型農業に関する取組等の充実：有機農業技術が習得できる場の活用
- ★市民農園事業を活かした交流促進：市民農園の開設及び運営支援

基本目標Ⅲ 農地、農業用施設等の維持・継承

成果指標	R2 現状値	R6 現状値	R7 目標値	達成状況	中間評価	R12 目標値
中山間地域直接支払制度協定面積	181ha	181ha	181ha	◎	見直し	194ha
有害鳥獣の捕獲数(イノシシ)	282 頭	295 頭	300 頭	○	維持・継続	300 頭
耕作放棄地の解消面積	21.8a	31.5a	60.0a	○	維持・継続	60.0a
ため池ハザードマップ	－	100%	100%	◎	廃止	

中山間地域等直接支払制度協定面積を維持しており、ほ場整備農地の生産活動は継続中。有害鳥獣の捕獲数は目標未達成ながらも被害面積は減少傾向で一定の成果あり。

⇒ 生産者や地域住民が高齢化する今後は、農地や農業用施設を一律に維持するのではなく、地域の実情を踏まえた優先順位付けや、維持管理の省力化、外部人材の活用など、新たな管理手法の検討が必要。

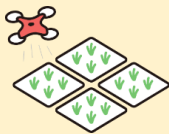
＜後期期間の課題＞

- ◆農地の維持・継承に向けて「意欲の高い農業者に、農地を計画的に集約」
- ◆農業者や住民等の参画による「農業用施設の適正管理」と「有害鳥獣対策の強化」
- ◆多様な主体による「暮らし続けられる農村に向けた包括的な運営」
- ◆担い手の高齢化、労働力不足に対する「ICT やデジタル技術の活用による農業現場や暮らしの革新」

＜後期期間の方向性＞

「農地集約」と「農村運営」を軸に、「テクノロジーによる適正管理や課題解決」に取り組み、
農地と農業用施設の維持継承を図る

- ◆農地の集約化による効率的な農業経営の基盤づくり
- ◆農業インフラの適正管理、更新投資
- ◆有害鳥獣対策の強化
- ◆これらを進めるための持続可能な農村運営の実現



＜主な施策の展開方向＞ ※特に力を入れて実施する「新規」「拡充」事業

- ★多面的機能の維持・発展：農地、農業用施設の良い維持、保全
- ★捕獲鳥獣の資源化の推進：捕獲鳥獣の加工及び商品開発の検討
- ★農業用施設の適正管理の推進：佐伯地域の中央水路や永原頭首工の整備など
- ★地域計画のブラッシュアップ促進：地域計画の見直し及び更新支援
- ★農村 RMO の立ち上げ及び運営支援：農村 RMO（農村型地域運営組織）の形成支援

＜指標の追加（新規）＞

成果指標	R2 現状値	R6 現状値	R7 現状値	R12 目標値(新規)
地域計画のブラッシュアップ件数【新規】	－	－	1 地区	9地区